

議会のき うごき 上島町議会

平成22年 第3回定例会

本定例会は9月27日に招集され、会期を2日間と定めました。1日で審議等を終え閉会しました。なお、行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

上村町長の行政報告

史上最高の猛暑・酷暑を記録した夏が過ぎ、やと秋祭りを迎えるに相応しい爽やかな時候となりました。

本日は平成22年第3回の定例議会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきまして誠にありがとうございました。

6月の定例議会以降には、上島町の方向性を示す大きな出来事が数多くありました。

特に9月8日には、加戸知事をお迎えして生名橋の閉合式が執り行われ、島と島の心をつなぐ架け橋が現実のものとなりました。上島町民の悲願に対し、強いリーダーシップで導いてくれた加戸知事の「義と愛」の精神に町民全てが感謝しています。

知事の御挨拶の中で、「生名橋は、最後の着地点ではありません。私どもが、上島4カ町村に約束いたしましたのは、生名橋のみならず岩城橋の完成をもって町村合併の約束に應えるわけであります。現下の厳しい状況の中で展望はなかなか開きにくい面がありますけれども、この想いはきつと私の後を就いていただく次の県知事が、岩城橋

の完成をさせていただきますことを強く願っております。」と述べられたように、県道・岩城弓削線、上島架橋に対する愛媛県の基本理念は何も変わっておりません。

私も、岩城橋実現に向けて今後も様々な施策に取り組み、全力を尽くしてまいりますので、町民皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

6月定例議会後の、その他の行政活動内容や資料については時間の関係上、上島町ホームページ内の町長活動報告にて代えさせていただきます、この場においては主な事項のみを報告させていただきます。

6月30日には「かみじまゆげ海の駅安全祈願祭」が執り行われました。7月以降の2カ月で延べ49隻のヨットが寄港しており、海の駅が上島町の新たな観光発信基地になるものと期待しています。

7月1日に実施した、「全離島正副会長会議」及び「平成22年度離島振興促進に関する要望」においては、正副会長会議後3班に別れ、離島関係国會議員へ要望活動を行いました。午後からは民主党今野副幹事長、総務省の渡辺副大臣や藤田過疎対策室長、国土交通省離島振興課、加藤都市・地域整備局長、門野審議官、農林省の山田大臣などを訪問し陳情活動を行いました。

陳情の内容は、愛媛県離島振興協議会からの要望もほぼ取り入れられており、新たに「交通基本法」の早期制定について、「離島観光の促進と基盤整備について」「海域の自治体面積への算入等について」などを要望項目に挙げたことが特色です。他の項目についても離島にとって欠かせない案件になっており、今後も適宜適切・継続性を持って要望活動に取り組みたいと考えています。

この件については、陳情先や内容についても、上島町職員全てに報告しておりますので、今後の行政運営における指針の一つになります。

長年の懸案事項であった、上島町特別養護老人ホーム「海光園」と離島体験滞在交流施設（ゆげロッジ）の安全祈願祭が7月6日に執り行われました。町民の皆様からの要望が強かったものの、財源がないために新築への道は険しいものでしたが、交付金や補助金に対する職員の提案能力と、国や県の御理解により事業化することができました。

完成後は、今後の重要案件である上島町全域の福祉や観光政策に大きな力を発揮してくれるものと期待を寄せています。

7月11日の参議院選挙では、昨年の衆議院選挙とは正反対の結果となり、自民党が議席を大きく伸ばしました。その原因は、以前から私が申し上げている政治家としての信義の不履行であり、予想された結果でもありません。

ただ、1年もしない間にこのように国民の心が大きく揺れ動くとは、ここにも信義がどこにあるのか、別の何かの要素に動かされているのではないかと疑問に感じる出来事でした。

本年も7月21日から24日までの4日間、「離島体験交流活動（子どもミニ島体験キャンプ）」を実施致しました。昨年同様32名の参加があり、高井神などで上島町の自然を満喫してくれたのではないのでしょうか。今年は7件の民家が宿泊を受け入れていただき、町外からの子供達にも優しく接して下さいました。

この場をお借りして、民泊にご協力いただいた御家族の皆様と、子供たちの夢を育んでいただいた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

7月22日には、市町知事陳情が開催され上島町から3点、地域から3点の重要案件を要望させていただきました。

上島町からの要望内容は

① 地域資源を活用したまちづくりに対する支援について

であり、『上島町は、京都東寺の「塩の荘園」として、また、中世海運の研究者にとっても全国的に有名であり、皇太子様も自らの研究の為、来町されました。

また、岩城島本陣や石灰石鉱山跡など、貴重な歴史建造物や近代化遺産も残っており、この地域資源を後世に残すことが我々の務めです。

今後の瀬戸内海観光戦略においても重要な資源でもあり、県と市町による支援策の創設をお願い致します。』との要望に対し、加戸知事から「一般的に観光面からのこういった施設、ハード面での県補助制度は、県下の状況、財政状況のなかでみると、極めて厳しいかなという感じは致しております。

しかし、ソフト面では、昨年度もしまなみ海道開通10周年記念事業として、様々なイベント等を展開させて頂きました他に、東予地方局が中心となりまして、上島町を含めた東予地域における観光資源を活かしたモデルツアーコースを設定したところでもありますし、そういった普及PRには努めてまいりたいと思っております。

この他に「新ふるさとづくり総合支援事業」を活用致しました特産品の開発とか、あるいは商工会等提案方、活動支援事業による上島ブランドへの構築への取組等、地域資源を活かしたこういう形で町づくりについては、引き続き支援させて頂きたいと思っております。」との回答をいただきました。

2 番目の

② 県道岩城環状線整備の推進について

は、『前回加戸知事から現状は承知していること、決定的な案は見つかっていないこと、岩城橋と並行して整備できることを期待しているとの御回答をいただきました。

この県道の改良計画は「上島町民のライフライン整備であり、真に必要な基幹道路計画」であり

ますので、重ねて特段の御配慮をお願い致します。』との要望に、井上土木部長より「できれば23年度、来年度に事業化を要望してまいりたいと、いうところまでこぎつけておりますが、ただ、このルートになろうという案につきましても課題が何点か残っております。これは是非、上島さんと地元の方々の了解を頂けないと解決できない課題でありますので、是非より一層の御協力を頂きまして、今年度中には何とかと思っておりますので、宜しくお願い致します。」との回答でした。

3 番目の

③ 離島医療の充実について

は、『離島住民にとって、医療機関や医師に恵まれていないことは言うまでもありません。

救急患者の対応についても、地方自治体の最重要課題として全力を挙げて取り組んでいます。直接の医療費より交通費・通院費の負担が大きいのが現実です。

については、都市部と同等の医療を受けることができる支援策をお願い致します。』という要望には、仙波保健福祉部長より「離島医療の充実について、今回新規の要望であります。上島町におかれましては、魚島診療所の医師の確保を始めと致しまして、医療体制の維持にご尽力されております。厚く御礼を申し上げます。

ご要望の医療費・通院経費に対する助成制度でございませけれども、愛媛県の場合、ご承知のように非常に沢山の有人離島、人が住んでいる離島を抱えております。また、今日の極めて厳しい財政事情の中で、新たに県として通院経費等に対する助成制度を創設することは大変難しいと考えております。

県におきましては、入院通院の足になります離島航路の維持、これがもとよりでございますけれども、市町立のへき地診療所への運営費の補助、また済生会が実施しております、診療船済生丸によ

る巡回診療事業、これに対しても県からの補助を行っております。このことによって医療水準のできるだけの格差是正に取り組んでございます。

また、今年度からは歯科医師会の方をお願いしまして、歯科の在宅治療、これを今治・上島地域で新規に開始することにしてございます。こういった施策を引き続き進めまして、可能な限りの地域医療の確保に努めてまいりたいと考えてございますので、ご理解を賜りたいと思います。」との回答をいただきました。

地域からは、「地域活性化のための支援について」「上島架橋の推進について」「離島航路に対する補助制度の充実について」を要望致しました。

時間の関係上、全ての回答を申し上げることはできませんが、上島架橋につきましては井上土木部長から「県と致しまして、上島架橋は弓削大橋、生名橋、岩城橋が完成して初めて本来の目的が達成するものであり、岩城橋の建設は必要と十分認識しております。ただ、現在県の財政状況に加えて、国の公共事業予算の方針が大変不透明な状況でございます。従いまして、またその生名島の生名橋が完成しますと、その道路の建設を進めながら、岩城橋について考えていくというように進めてまいりたいと思います。」との回答をいただいております。

以前にもお伝えしたように、国の来年度予算の概要はほぼ7月中旬に確定されるため、重要項目等の要望は8月までに行わなければなりません。国の予算に反映させるには、7月中旬に上島町重要施策を提案する必要がある、各省庁の担当に直接説明するためにも7月27日から28日において要望活動を実施致しました。

その内容は、「地上デジタルの安定供給について」、「公共事業に係わる事務費補助金の見直しに

ついで、「移動権について」、「上島架橋の促進について」であり、特に「移動権」については、『離島航路はライフラインであるにも関わらず、離島においてその「移動権」に大きな制約がある現在、同じ日本という国に住みながら基本的人権さえも保障されていないのが現実です。人の生命を預かるインフラ整備やその運営は、国の責務であり、他に交通機関のない航路は、等しく無料で国民が享受すべき政策案件ですので、離島における「移動権」の保障を求めます。

離島では、救急患者の移動時間、疾病治療や妊婦の通院時等における交通費の問題など、地理的条件から厳しい制約を受け、家族の精神的また金銭的な負担は大変大きなものとなっています。こうした状況下で、離島住民の負担軽減を図り、都市部と同等の医療を受けることのできる環境づくりは、一地方自治体の能力をはるかに超えています。

また、離島航路料金を陸地部の道路と同様に無料にすることは、「移動権」の保障とともに、観光経済にも多大な効果が期待でき、過疎地域活性化の観点からも大きな意義があるものと考えます。公共交通の利便性が確保されていない離島において、今後でもできる限りの政策を推進しますが、地方自治体には自ずと限界があり、国の支援がなければ、その効果はほとんど発揮されませんので、離島の移動権の保障について、特段のご配慮をお願い致します。』との要望を行いました。

8月4日には民主党の「島の振興議員連盟総会」に全国離島振興協議会の代表として出席し、政権与党に対して離島の窮状を訴えました。

8月5日には、上島架橋促進協議会を代表して副会長、上島町商工会会長や副会長と共に岩城橋の必要性を、愛媛県土木部長をはじめ、東予地方局長、今治支局長などの愛媛県や、四国地方整備局局長や道路部長等に直接訴えました。

8月7日の「出会いふれあい交流会」では、町外から14名の女性の参加をいただき、交流活動はもちろん瀬戸内の豊かな自然を楽しんでいただきました。当日は年々盛況となり、帰省客の目的の一つになりつつある「ふるさと夜市」などにも参加していただきました。

種子島で開催された「第3回国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会」には、公務の関係上8月21日から途中参加させていただき、「KAM I J I M A」の名前を刻んだユニフォームで、一丸となって全力で戦う中学生の純粋な姿に大きな感動を覚えました。

今回私が参加させていただいた理由の一つは、来年の会場は我が上島町であるということですが、北海道から沖縄まで、全国から集う離島中学生を、おもてなしの心でお迎えしたいと考えておりますので、上島町民皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

8月26日には、快速船建造工事起工式が執り行われ、同日、立石港新浮き桟橋が供用開始となりました。7月14日の上島町旅客フェリー建造工事起工式も合わせ、島民の足となるインフラ整備が飛躍的に充実することになります。

8月29日には愛媛マングリンパイレーツ公式戦を、いきなスポレク野球場において開催し、多くの野球ファンに楽しんでいただきました。当日はベルリン世界陸上メダリストの村上幸史選手も、始球式やスピードガンコンテストに参加していただき、大いに試合を盛り上げて下さいました。

ふるさととの事を想い、お忙しい中にもかかわらず参加していただいた村上選手は、まさに上島町名誉町民にふさわしい私達のヒーローです。

さて、来年度の上島町予算の指針となる、8月31日に締め切られた財務省への平成23年度予算の概算要求は、一般会計の総額96兆7465億円となり、要求ベースでは今年度の95兆380億

円を上回る過去最大となりました。

今回は民主党政権下で初めて本格的に編成した概算要求であるにも関わらず、政府試算によると平成23年度の歳入全体と今回の要求総額には8兆円以上の開きがあるそうです。

また、子ども手当の上乗せ分については金額を明示しない「事項要求」としており、平成22年度限りの暫定措置とされていた子ども手当には地方負担や事業主負担が存在しています。

マニフェスト事業や社会保障費、地方交付税を除く既存予算の「一律1割削減」を求める代わりに設けた雇用拡大や経済成長のための「元氣な日本復活特別枠・1兆円超」に対する要望額は3兆円規模に達しています。

特別枠は公開の「政策コンテスト」を実施して配分を決定するとされていますが、具体的な内容は全く明らかになっていません。

私は、政治家として最も重要な仕事である予算の決定を、第3者に委ねるようなコンテストを実施するのであれば、一日でも早い国会議員の削減を実現させるべきであると考えます。

特別会計を対象とした事業仕分け第3弾を、10月末から11月にかけて実施することを明らかにしていますが、今回は目標数字を明確にしておらず、予防線だけは用意しているような対応に見えます。

パフォーマンスだけの政治は、世界における日本の社会経済的地位を下げるだけで、一刻も早い実経済に即した政策と外交に取り組んでいただきたいと願っています。

社会保障も削れないし、更に総額も増やさないと、そんな予算編成が可能なのでしょうか。財政難から歳出削減への努力が叫ばれたにもかかわらず、また過去最大の要求総額は、私には理解できません。消費税を含む税制抜本改革も、民主党政調にプロジェクトチームが設置されていますが、実質的な論議には至っていません。

国庫補助金の一括交付金化も含め、今回の民主党の代表選により、予算編成に大きな影響が出るため、これ以上の分析は行いませんが、「ねじれ国会」の付けだけを、国民に回すようなことだけは避けていただきたいと願うばかりです。

終わりに、9月13日に開催された「元氣えひめの会」において加戸知事が今限りでの引退を表明されました。3期12年を振り返って様々な想いを語られましたが、その基本にあるのは「惻隱の心（情）」でした。

他人に対する愛は削らずとも、自分に対する愛は抑えることができる。自分が求めることを限りなく少なくすることによって、その分だけ、いや無限大に無償の愛を与えることが生きていることの価値である。そのように私は感じ取りました。私は加戸知事から受けた恩と共に、この「惻隱の心（情）」を忘れることなく、上島町の行政運営のみならず、自らの生き方としていたいと思っています。

各議案の主な内容 及び議決結果

平成21年度決算

■平成21年度上島町一般会計・特別会計（17会計）及び上水道事業会計歳入歳出決算認定について
《19議案》

各会計の決算額は、次表のとおりです。一般会計の詳しい決算状況は6ページに掲載しています

— 認 定 —

平成21年度 上島町会計別決算額

会 計 別		歳入歳出予算額(円)	歳 入(円)	歳 出(円)	歳入歳出差引額(円)
一 般 会 計		11,519,226,000	8,370,982,756	7,629,156,167	741,826,589
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	1,248,900,000	1,217,295,227	1,191,241,627	26,053,600
	後 期 高 齢 者 医 療	128,200,000	126,690,159	126,056,377	633,782
	老 人 保 健	10,600,000	11,103,902	9,541,472	1,562,430
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付	1,400,000	1,638,264	625,152	1,013,112
	ふ 頭 用 地	2,900,000	3,478,299	2,566,586	911,713
	公 共 下 水 道	501,000,000	487,968,639	486,054,513	1,914,126
	C A T V	639,056,000	604,878,292	604,279,955	598,337
	農 業 集 落 排 水	93,600,000	91,079,896	89,582,097	1,497,799
	介 護 保 険	636,000,000	618,207,973	601,714,713	16,493,260
	介 護 サ ー ビ ス	33,500,000	31,149,484	31,097,015	52,469
	浄 化 槽	24,100,000	22,989,514	21,118,704	1,870,810
	国民健康保険診療所	66,600,000	63,004,418	62,110,799	893,619
	へ き 地 出 張 診 療 所	7,000,000	12,423,660	6,043,378	6,380,282
	簡 易 水 道	46,000,000	43,987,518	43,281,773	705,745
	特別養護老人ホーム	291,100,000	298,004,549	285,030,051	12,974,498
	生 名 船 舶	128,400,000	142,382,823	125,930,926	16,451,897
	魚 島 船 舶	135,900,000	130,195,213	129,452,726	742,487
上 水 道 事 業 会 計 (公 営 企 業 会 計)		200,000,000 (予算額は税込み)	229,370,809 (税処理後212,847,752)	198,950,046 (税処理後192,321,616)	30,420,763

平成21年度上島町一般会計決算報告 **これが上島町の家計簿です**

平成21年度の各会計決算は、9月定例会で全て認定されました。ここでは、納められた税金や国・県等からのお金がどのように使われたのか、一般会計の詳細を報告します。

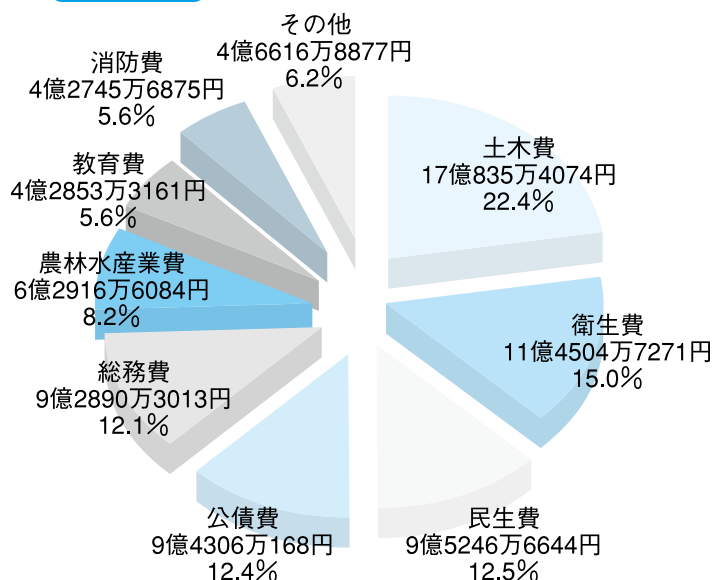
《歳入 その他の内訳》

地方譲与税	34,393,463円
利子割交付金	4,033,000円
配当割交付金	1,027,000円
株式等譲渡所得割交付金	609,000円
地方消費税交付金	62,668,000円
自動車取得税交付金	8,193,000円
地方特例交付金	7,873,000円
交通安全対策特別交付金	532,000円
分担金及び負担金	62,101,966円
使用料及び手数料	110,519,036円
財産収入	25,449,603円
寄付金	4,024,000円
繰入金	2,500,000円

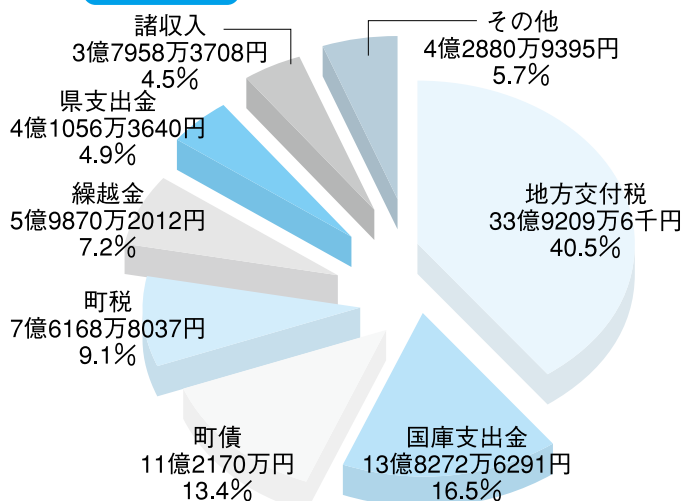
《歳入 町税の内訳》

町民税	417,005,935円
固定資産税	295,735,030円
軽自動車税	17,100,650円
市町村たばこ税	31,846,422円

歳 出 76億2915万6167円



歳 入 83億7098万2756円



《歳出 その他の内訳》

議会費	69,347,890円
商工費	340,285,487円
災害復旧費	5,927,500円
諸支出金	50,608,000円

《歳出 特別会計への繰出金》

〈総務〉CATV事業会計	5,600,000円
〈民生〉国民健康保険事業会計	125,000,000円
〈民生〉老人保健事業会計	132,200,000円
〈民生〉後期高齢者医療事業会計	31,200,000円
〈民生〉介護保険事業会計	108,100,000円
〈民生〉介護サービス事業会計	10,000,000円
〈民生〉特別養護老人ホーム事業会計	12,900,000円
〈衛生〉公共下水道事業会計	381,000,000円
〈衛生〉浄化槽事業会計	19,000,000円
〈衛生〉農業集落排水事業会計	69,000,000円
〈衛生〉上水道事業会計	23,836,000円
〈衛生〉簡易水道事業会計	20,500,000円
〈衛生〉国保診療所事業会計	27,300,000円
〈諸支出金〉生名船舶事業会計	8,200,000円
〈諸支出金〉魚島船舶事業会計	35,000,000円

平成21年度の世帯・個人当たり歳入歳出状況 《平成22年3月末現在》 (世帯数…3,709世帯 人口…7,502人)

歳 出

1世帯 2,056,930円
町民1人 1,016,949円
(昨年度より212,567円増) (昨年度より115,384円増)

歳 入

町税負担額
1世帯 205,362円
町民1人 101,531円
(昨年度より16,137円減) (昨年度より6,742円減)

条例議案

上島町良好な生活環境の確保に関する条例

野良犬への餌やり等の問題となる行為を抑止し、町民の良好な生活環境を確保するため、条例を制定する必要があるもの。

原案可決

上島町在宅寝たきり老人等介護手当支給条例の一部を改正する条例

上島町在宅寝たきり高齢者等介護手当の円滑な支給を図るため、関係規定を整備する必要があるもの。

原案可決

上島町生名船舶使用料条例の一部を改正する条例

尾道地区旅客船協会が実施する「しまなみサイクルルーズPASS」に対する割引を、期間限定で新たに追加する必要があるもの。

原案可決

補正予算議案

平成22年度上島町一般会計・特別会計（6会計）補正予算《全7議案》

一般会計

【補正額】 9900万円

【総額】 65億 200万円

特別会計（6会計）

国民健康保険		老人保険	
補正額	総額	補正額	総額
500万円	11億4200万円	内容変更のみ	120万円

その他議案

公共下水道		農業集落排水		介護保険		介護サービス		生名船舶	
補正額	総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額	総額	補正額	総額
1800万円	4億9300万円	480万円	7380万円	1600万円	6億7490万円	20万円	3420万円	70万円	1億3190万円

原案可決

上島町過疎地域自立促進計画の策定について

過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律が平成22年4月1日から施行されたことに伴い、過疎地域自立促進市町村計画（平成22年度、27年度）を策定する必要があるもの。

可決

固定資産評価審査委員会委員の選任について

【住所】 上島町魚島一番耕地224番地

【氏名】 中村 一義

【生年月日】 昭和24年6月10日

【住所】 上島町生名705番地

【氏名】 村上 寛仁

【生年月日】 昭和25年4月17日

【住所】 上島町岩城1400番地

【氏名】 中濱 信之

【生年月日】 昭和18年9月10日

【住所】 上島町岩城1400番地

【氏名】 中濱 信之

同意

教育委員会委員の任命について

【住所】 上島町魚島一番耕地375番地3

【氏名】 東 修二

【生年月日】 昭和25年7月12日

【工事請負契約の締結について

弓削教員住宅新築工事

●弓削教員住宅新築工事

【契約方法】 指名競争入札

【契約金額】 1億2852万円

【契約の相手方】

今治市南宝来町3丁目4番地の5株式会社河上工務店 代表取締役

河上 亮一

上島町岩城庁舎建設工事

●上島町岩城庁舎建設工事

【契約方法】 指名競争入札

【契約金額】 4億4205万円

【契約の相手方】

今治市南大門町1丁目1番地の15

四国通建株式会社 代表取締役 阿部 健

農業委員会委員の推薦について

議会推薦の農業委員会委員は次の2名を推薦

・大西 宗一 ・村上 要

可決

弓削・紅葉ウォーキング

【日時】 11月2日（火）受付 9時40分

開始 10時10分 ※昼食後随時解散

【場所】 友愛の水記念公園（せとうち交流館横）集合

【参加費】 100円（当日徴収）

【ウォーキングコース

★5キロコース ★9キロコース

【服装、持参品】 動きやすい服装、靴でお越し

ください。必要な方は、お茶、タオル、

万歩計などお持ちください。